

舞鶴市 乳幼児教育ビジョン

【基本理念】 主体性を育む乳幼児教育の推進
～みんなでつながり育む舞鶴のこども～



舞鶴市では、舞鶴市教育振興大綱において「ふるさと舞鶴を愛し 夢に向かって将来を切り拓くこども」を育てるため「0歳から15歳までの切れ目ない質の高い教育の充実」を目指しています。

特に、0歳から就学前の乳幼児期は、人格形成の基礎を培う重要な時期であり、豊かな遊びや生活・体験の中で小学校以降の学びや育ちの土台となる好奇心・探究心・社会性など「学びに向かう力」が育ちます。

そのような乳幼児期ならではの育ちや学びの特徴を知り、家庭・地域・園・学校がつながり、みんなで舞鶴のこどもを育てていくために「舞鶴市乳幼児教育ビジョン」を策定しました。

本リーフレットは、こどもの心身の健やかな育ちを育むために、大切にしたい関わりについてみなさんと共有できるよう「家庭版」として作成しました。ぜひ、それぞれのご家庭でご活用ください。

育てたいこども像と育てたい力、育てたいところ

～第2章 育てたいこども像と基本理念より～

こんなこどもに
育ってほしいな…



主体的に取り組む
こども

自分も友達も
大切にすることも

乳幼児期に育みたい力や
ところってどんなこと？



主体性の育成

自己決定力

コミュニケーション力

自己調整力

自己表現力

協働する力

主体性の育成や自己を肯定する
ところを育成するために大人が
大切にしたい関わりは？

こどもの思いや
言葉を受け止めましょう

こどもの言葉に耳を傾け
応答的にやりとりしましょう

やりたい気持ち（意欲）
を尊重しましょう

相手の気持ちに気づき、自分の気持ちに
折り合いをつける機会をもちましょう

自分で行動をおこすような
言葉がけや関わりを心がけましょう

あいさつや「ありがとう」
「ごめんね」等の感謝・謝罪の気持ちは
大人がモデルとなりましょう



こどもは家庭だけでなく、地域や園の
さまざまな人の温かいまなざしに見守られ、
関わり合いながら育っていきます。
こどもをまんなかにして、家庭も地域も
園も互いにパートナーとして協力し合い、
支え合っていくことが大切です。

～育てたいこども像～

意欲的に遊ぶ
こども



～育てたい力、育てたいところ～

自己を肯定するこころの育成

自己肯定感

自己有能感

自己有用感

達成感

安心感

信頼感

一人一人のよさを見つけて
ほめましょう

一人一人を
認めましょう

頑張っているところや人のために
してくれた行動をほめましょう

見守り、ありのままを
受け止めましょう

大人との愛着形成、信頼関係を
つくりましょう

家庭は人への信頼感の土台となる愛着を形成し、こどもに
とって安心・安定できる居場所となることが大切です。
こどもと触れ合って一緒に遊んだり、絵本の読み聞かせを
したりして、こどもと楽しく過ごすことも大切です。

～第3章 本市の目指す乳幼児教育の基本方針より～
1. 安心できる居場所としての家庭

0歳ごろ

愛着関係を結ぶ

こどものこころの健やかな育ちのためには適切な「愛着」形成が重要です。これは、将来にわたる人への信頼感の出発点となります。

大人が応えてくれる、共感してくれることで人との愛着関係が深まります。

大切にしたい関わりは…

■こどもの体の動きや表情などから気持ちを汲み取り、視線を合わせて表情豊かに言葉にして返しましょう。

びっくりしたね

だいじょうぶだよー

安心感



なあに？



見たい！触りたい！聞きたい！

「あれ？」「何だろう」「不思議だな」と感じながら、物や身近な環境に関わっていく時期です。

見たり触れたり繰り返したり試したりするなかで、気付いたり、発見したりしています。

大切にしたい関わりは…

■こどもの興味を見守りながら、タイミングを見て「ふしぎだね」「OOみつけたね」などと共感の言葉をかけましょう。

やりたい事を存分にやれる環境と、共感してくれる大人がそばにすることで、意欲的に遊び込むことにつながります。

なんだろう？



1歳ごろ

信頼感

自分でや

自分でできること
ようとする姿が見
欲や思いを言葉や
自分でしたいけれ
ールがうまくでき
が難しく、泣いた

大切にしたい関わり

- できなくても、「がんばったね」を伝えましょう。
- 「お手伝いしよう」として大人が手伝い、子どもの満足感を感じさせよう。
- 自分でやってみたい気持ちをほめる、ほしい時などに「自分でやってみよう」と促したりしましょう。

自分の思いを十分に出すこと
もらう経験が人の思いに気付く
るを育てていきます。

主体性や自己を肯定するころ



自己決定力

好きな遊びを楽しもう！

好きな遊びを自分で選び、決めることも主体性を育むうえで大切です。自分で選んだ遊びを満足いくまで楽しむことで、**満足感**や**達成感**を感じます。

達成感

3歳ごろ〜

友だちといっしょが楽しい
いっしょに遊びたい

自分以外の人への関心が芽生え、友だちと一緒に何かしたい、一緒だから楽しいなど、人という喜びを感じ始める時期です。まだまだ個人差も大きく、自分中心な時期でもあり、自分の思いを通そうと、気持ちがぶつかり合うこともあります。このような経験をしながら社会性が育っていきます。

大切にしたい関わりは…

- ぶつかり合った時もまずは見守りましょう。
※ケガにつながるような場合はすぐに介入する必要もあります

↓
お互いの気持ちに共感し、気持ちを伝えましょう。
「〇〇ちゃんもほしかったね」「△△したかったんだね」

↓
解決する方法を一緒に考えたり、提案したりしましょう。
「二人ともほしいよね」「〇〇したかったね」
「どうする？」「△△してみよう？」



けんかやトラブルを経験する中で、友だちにも思いがあることを知っていきます。相手の思いにも気づき、自分の気持ちにも折り合いをつけられるようになっていくことで自分たちでトラブルを解決していく力をつけていきます。

りたい！

も増え、意欲的に自分のことを自分でしられる時期です。「いや」「自分で」と意識態度で表現します。

どできない時などには、感情のコントロールが難しいため、一度起きた感情を収めることが難しくなります。

りは…

うまくいかなくても見守り、
「ここまでできたね」と認める言葉をか

うか？」とこどもの意思を確認してから、
最後はこども自身が「自分でできた」とい

えいけれどできない、できるけれどやって
は、思いを受け止め、手伝ったり、一緒に

、思いを受け止めて
き、思いやりのここ

を育むために大切にしたいこと

体験しよう！

地域や園の取組に参加したり、舞鶴の海、山、川等の自然に触れる体験をしたりすることは、**こどもの体験が豊か**になり、これからの生活や学びにいかされます。

お手伝いしよう！

人の役に立ったという経験
お手伝いはこどものこころを育てます。「ありがとう」「たすけてうれしいよ」などと感じ、**意欲や自信、自己肯定**

どろだんご
ピカピカになったよ～

自己表現力



自己有能感

へえ～
どうやって
つくったの？

発見したい！知りたい！伝えたい！

興味や関心をもった遊びを繰り返し楽しむ中で、新たな発見をしたり、気付いたりしています。そして、さらに試してみようとしています。

※この姿は、「自立心」や「思考力」にもつながっていく育ちです
その発見や気付いたことを誰かに伝えようとしています。

大切にしたい関わりは…

■大人が「それは〇〇だからだよ」と言ってしまうのではなく、こどもの発見や気付きを共感や驚きをもって受け止めたり、問いかけたりしましょう。

「すごい発見だね」「よく気付いたねー」

「なんでだろうね～」「どうしたらそうなったの？」

自己肯定感

考える、試す、工夫する

気付いたり、発見したりしたことや、考えたこと、試行錯誤したことを、特に、土、砂、水、草花などの体験を豊かにします。

試行錯誤する遊びは、根気強く取り組み、集中し持続して取り組む力を育てます。

大切にしたい関わりは…

- 遊びを一緒に楽しみましょう。
- こどもの言葉に耳を傾け、思いを聞き取りましょう。
- 関心をもって問いかけましょう。
- こどもの興味・関心に応じて自然に関わりましょう。

自己調整力

発達には個人差があります。ゆったりと見守ってあげましょう。特に、食事や排泄の

自己有用感

が得られる
の成長を促し
「やったよ」「と
謝されること
感謝が育めます。

夫する

から、好奇心をふくらませて調
りして様々な遊びが生まれま
の自然に触れることは、こども

り組み、工夫し、見通しをも
育みます。

を受け止めましょう。

然に触れる体験をしましょう。

相手の思いを聞く、 話し合う、折り合いをつける

自分の思いを伝える、相手の思いを聞くなど、話し合いの経験が大切です。時には、互いの意見がぶつかり合い、がまんしたりゆずったりと、自分の気持ちに折り合いをつけることも必要になります。

ルールや約束を守ろうという気持ちも芽生えてきます。

大切にしたい関わりは…

園では

- 自分の思いや考えを話したり、相手の思いを聞いたりするなど、話し合いの機会をもちます。
- お互いが認め合えるよう、一人一人のよさ、得意なこと、発見したことや行動したことを周りに発信することで、一人一人が輝く場面をつくります。
- 遊びの中でルールや約束を守ることは気持ちがよい、友だちとの遊びもより楽しくなるという経験や、どうしたら守れるかを、みんなで話し合う機会をもちます。

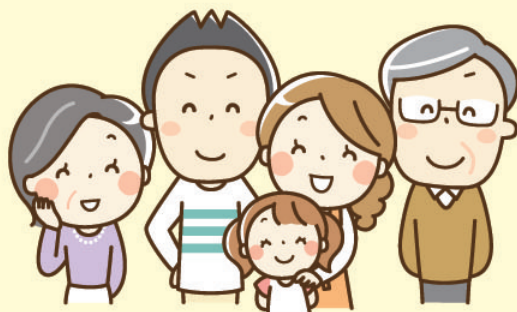
家庭では

- 「おはよう」等のあいさつ、「ありがとう」の感謝の気持ち、「ごめんね」の謝罪の気持ちは大人がモデルとなって、こどもに示すことが大切です。大人自身がルールや約束、マナーを守りましょう。



もっと高くするぞ〜

自立などは、それぞれのお子さんのペースに合わせてすすめていくことが大切です！



子育てやこどもの成長・発達などについて、
気になることや心配なことがあれば
一人で悩まずに、通っている園の先生や
市の相談窓口にご相談ください。

舞鶴市こども家庭センター 子育ての総合相談窓口

〒625-0087 舞鶴市字余部下1167 中総合会館2階
月～金（祝日除く）8時30分～17時15分
Tel 0773-68-9155（留守番電話兼用）

※開設時間外は留守番電話対応し、後日連絡します

本リーフレットについてのお問合せは・・・

舞鶴市乳幼児教育センター
月～金（祝日除く）
8時30分～17時15分
Tel 0773-68-9510